

令和8年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【学校像】伝統ある普通科高校として、次の学校をめざす。 ・確かな学力を定着し、学びを深化させる学校 ・豊かな心と健やかな体を育てる学校 ・将来をみすえた自主性・自立性を育て、地域に信頼され魅力ある学校 【育てる力】授業・学校行事・部活動・地域連携等を通じて、次の力を育む。 ・確かな学力とグローバル社会を生き抜く力 ・豊かな人間性と健やかな体を備えた人間力 ・自己形成力と希望進路を実現できる力

2 中期的目標

1 確かな学力の定着と学びの深化 (1) 学習指導要領と本校の実情を踏まえ、「確かな学力」の育成と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。 ア 各教科の授業において観点別評価に基づいた授業づくりを推進し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成する。 イ 校内研修や相互授業見学、研究授業を実施し、授業の評価・検証に努め、生徒授業満足感を向上させる。授業の質の向上のため「魅力的な授業」「わかる授業」をめざし、指導と評価の一体化を通じて学習指導の在り方を見直し、授業の改善を行う。 ウ 各教員が主体的に授業を研究し、授業形態の工夫や ICT 機器の積極的な活用等により授業改善を図る。 (2) グローバル社会を生き抜く力の育成のため、英語教育を充実し、グローバルな課題解決にむけて自ら考え、行動できる人材育成に努める。 ア 学習指導要領を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域別及び複数領域を結び付けた統合的な言語活動を充実させ、生徒の英語運用能力を育成する。 イ 授業等においてデジタルコンテンツ等を活用して言語活動を充実させ、姉妹校交流、海外高校生との交流等、生の英語に触れる機会を設けて生徒が英語でコミュニケーションを取る機会を提供し、生徒の英語運用能力、「話す力」の育成に努める。 ウ 海外の学校との交流を通じて国際理解を深め、コミュニケーション能力を育成する。また、国際交流活動通じて、諸外国の異なる文化や習慣について理解を深め、互いに違いを認め合い、共に生きていく力、自分の意思を表現できる力の育成に努める。 (3) 問題発見・解決能力、論理的思考力を養い「総合的な探究の時間」を推進する。 ア 学年、分掌、教科の実践やスキルから情報を共有し、教科・科目の枠を超えて学習の基盤となる資質・能力が育まれるよう、教員が一体となった指導体制を確立し、企画立案・実践して進める。 イ 課題解決学習など課題を探究する中で、他者と協働して課題を解決しようとする活動や、情報収集、整理・分析、まとめ、表現する活動を実践させていく。 2 豊かな心と健やかな体の育成 (1) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた生徒支援体制を確立し、生徒指導の充実を図る。 ア 生徒指導のあらゆる場面で基本的生活習慣の確立に努め、規範意識やマナー意識、あいさつ等、自他を思いやる心を醸成する。また、遅刻数の減少や自転車事故等の事故防止に重点を置く。 イ 不登校傾向の生徒の早期発見・早期対応に努め、校内における支援相談体制の充実を図る。「個別の教育支援計画」等を活用して適切な指導・支援につなげ、家庭と連携しながら関係機関と連携して取り組む。 ウ 自治会活動の充実を図り、体育祭・文化祭等の諸行事は、生徒の主体性と自立性を活性させ充実感を育む。また、部活動を活性化し、バランスのとれた心身の成長と健全な人間関係を形成する力の育成を図る。 エ お互いを大切にする態度の育成をめざす「人権教育」、人間としての在り方生き方について考えを深める「道徳教育」、人間、生命や自然を尊重する精神、規範意識、自らを律し他人を思いやる心、公共の精神など豊かな人間性を育む「心の教育」を充実させる。 (2) 読書に親しみ、学び、読書の楽しさを共有できるよう、読書環境の整備と読書活動の推進を図る。 ア すべての生徒が読書への興味・関心を高め、必要な知識を得て、楽しみながら読書活動ができるよう学校全体として取り組む。 イ 図書館運営協議会が中心となり、新聞発行や読書イベントを活用し、読書活動ができていない生徒も本に興味・関心を持つよう、読書活動の普及啓発及び推進を図る。 3 将来をみすえた自主性・自立性の育成と魅力ある学校づくり (1) 大学や企業と連携し、自己の将来や自己実現について考え、教育活動全体で実践的なキャリア教育を推進し、生徒の進路希望を実現させる。 ア 生徒一人ひとりの進路や生き方に関する悩みを受け止め、生徒が主体的に進路を選択できるよう、カウンセリング機能の充実に努める。 イ 進路に関する適切な情報を提供するなどガイダンス機能の充実を図るとともに、進学・就職試験の受験に際して必要となる要件等について生徒への周知に努める。 ウ 進路目標に応じたコース（Ⅰ型文系・Ⅱ型理系）の指導を強化し、入試結果の向上をめざすとともに、ガイダンス機能の充実を図り、生徒及び保護者への情報提供を増加させ進路実現につなげる。 ※ 進学目標となる中堅・難関大学現役合格者数について、令和10年度合格者200名をめざす。 (2) 教職員の資質の向上と学校組織づくりに努める。 ア 教員の意欲が向上し、より主体的に動き、全体の指導力向上ができる教員集団を育成し、生徒の満足感につなげる。 イ 組織的・効率的で、相互に高め合う円滑性のある職場環境づくりをすすめる。 ウ 働き方改革の取り組みとして、教員が生徒に対応する時間や自ら資質・能力の向上を図る時間を確保・充実できるよう、業務の効率化、在校等時間管理、校務における ICT 活用の推進、部活動の適正化を促進し、意識の改善を促し定着する学校運営を図る。 (3) 保護者や地域に情報発信を行い、信頼され魅力ある学校づくりに努める。 ア 保護者、地域との連携を図り、それらの意見を学校運営に反映させていく開かれた学校づくりへ向けた取り組みをすすめる。 イ さまざまな教育活動に関する情報は、WEB ページ等を通して保護者等へ発信し、積極的な情報提供や広報活動を展開する。 ウ 伝統ある高校の良さを継続し、歴史ある地域との関係性を大切にし、連携行事や交流活動を通して魅力づくりや情報発信を活性化する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和 年 月実施分〕	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R7年度値]	自己評価
1 確かな学力の定着と学びの深化	(1)「確かな学力」の育成と授業改善 ア 「観点別評価」の授業づくりを推進	ア・授業向上グループを継続し、授業アンケート・学校教育自己診断等結果を分析し、課題を共有し、エビデンスに基づいた授業改善をすすめる。 ・振り返りシート等を積極的、組織的に活用する。 ・土曜学習会、補習や講習等学習支援の取組みを充実させる。	ア・授業アンケート、学校教育自己診断による生徒満足度「わかりやすい授業・教え方に工夫」昨年度以上。 [90%] ・振り返りシート等の活用率 70%目標。 [63.5%] ・土曜学習会、夏期進学補習の参加者数平均を昨年度以上 [76名]	
	イ 授業の質の向上と授業改善	イ・学習指導要領に対応した授業向上グループの研究を継続する。 ・校内研修や授業見学を通じ、授業改善に努める。 ・授業見学週間、授業参観を実施する。	イ・アンケート(教員)「生徒の実態を踏まえ指導方法工夫・改善に努める」肯定的回答 90%以上を維持する。 [100%] ・会議、研修等を 10 回以上実施する。 [会議 3 回、研修会 7 回実施] ・「授業見学週間」「授業参観」各 1 回実施 [授業見学 2 回、授業参観 1 回]	
	ウ ICT を活用した授業改善	ウ・電子黒板や 1 人 1 台端末など ICT を活用した取組み実践を推進する。	ウ・アンケート(教員)「ICT 機器をよく活用している」90%以上を維持する。 [94%]	
	(2)英語教育と国際教育の充実 ア・学習基礎「聞く」「書く」に取組む ・英語多読・多聴「読む」「聞く」に取組む	ア・「学習基礎」英語ディクテーション学習を推進し、「聞く」「書く」の毎朝の学習を継続する。 ・「多読」「多聴」英語学習を継続し、成果を検証し英語活用能力を育成する。	ア・アンケート(生徒)「朝学習の時間は意欲的に取り組んでいる。」 肯定的回答率 90%以上を維持する。 [91%] ・授業で多読多聴を継続し、アンケートで肯定的回答率 90%以上を維持する。 [96%]	
	イ 英語運用能力「話す」に取組む	イ・海外研修、海外高校生との交流など実施し、「話す」力の向上をめざす。 ・英語検定に積極的に取り組む。	イ・全生徒対象スピーキングテストなど 5 回以上実施する。 [6 回] ・英語検定実績を昨年度以上 [3 回] [STEP 英検準 1 級 1/5、2 級 34/87、準 2 級 29/47、3 級 27/33] (合格者数/受験者数)	
	ウ 国際理解教育に取組む	ウ・海外研修を通じて国際理解教育を推進する。	ウ・オーストラリア姉妹校研修 1 回実施 [0 回]	
	(3)総合的な探究の時間を推進 ア「総合的な探究の時間」の推進	ア・学年、分掌、教科と連携し、指導内容を充実する。 ・従来の取組みの検証し、芸術鑑賞、地域探索、フィールドワークなどを企画して充実を図る。	ア ・計画立てた総合的な探究の時間を実施する。 [各学年実施] ・芸術鑑賞や地域フィールドワークを各 1 回実施する。 [2 回]	
	イ キャリア教育、課題解決学習などを探究する	イ・総合探究でキャリア教育の取組みと SDGs の課題解決学習を計画的に推進する。	イ・アンケート(教員)「キャリア教育」肯定的回答を 90%以上維持する。 [93%] ・総合探究にて SDGs の取組みを計画的に実施する。 [100%] ・アンケート (生徒)「将来の進路や生き方について考える機会がある。」 肯定的回答を 90%以上維持にする。 [92%]	

2 豊かな心と健康な体の育成	(1)生徒支援体制の確立及び生徒指導の充実	安全と安心を優先させ、生徒満足度の向上を図り、授業と学校行事、生徒支援の各面で生徒の主体性を育み、意欲のある学校生活を促す。		
	ア 生活指導の充実	ア・基本的生活習慣を涵養し、遅刻防止の指導を強化する。 ・安全な通学、特に自転車通学の事故防止のため指導を充実させ、事故減少を図る。 ・自然災害への防災体制の強化及び防災教育を推進する。 ・安全点検を実施し、危険を排除する。	ア・年間遅刻者数が1人3.0回以内をめざす。 [5.0回] ・自転車通学生徒の交通法規遵守、マナー向上させ年間事故0件をめざす。 [8件] ・防災教育を実施し、火災・地震等の災害避難訓練を2回以上実施する。 [2回] ・安全点検を各学期実施し、アンケートを実施し問題点は迅速に対応する。 [3回] ・保護者から指摘あれば迅速に対応し、未未処理件数を0件にする。 [0件] ・アンケート(教員)「清掃や設備点検がいきとどいている」の肯定的回答を70%以上維持する。 [70%]	
	イ 支援相談委員会の充実	イ・SC、SSWと連携し、教育相談体制を充実させ、個々の生徒及び家庭環境に寄り添った指導を心がける。 ・支援を求めている生徒を早期発見・早期対応し、ニーズにあった支援を行い、関係機関とも連携して進める。	イ・アンケート(生徒)の「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。」肯定的回答90%以上を維持する。 [93%] ・支援相談委員会と支援が必要な生徒及び保護者の連携を全教員で情報共有する機会を各学期に1回以上設定する。 [3回]	
	ウ・生徒支援業務の充実	ウ・自治会活動において生徒の主体性と自立性を向上させ、体育祭や文化祭等、学校行事の活性をめざす。 ・生徒自治会が主体にボランティア活動を実施し、あいさつ運動や美化活動を通して愛校心や仲間意識を育む。	ウ・各行事で生徒アンケートを実施し、生徒満足度を90%以上維持する。 [体育祭98% 文化祭92%] ・生徒自治会によるボランティアあいさつ運動や美化活動を5回実施。 [5回]	
	・部活動の充実	・大阪府運動部活動や学校部活動指針を厳守し、学業とのバランスのとれた部活動を推進する。	・適切な休養日及び活動時間設定により年間・月間計画表を作成提出100%めざす [新規]	
	エ 人権教育・道徳・心の教育の充実	エ 人権講演会など人間や生命及び自然を尊重する精神や規範意識、他人を思いやる心など人間性の教育を充実する。	エ・全校人権講演会を1回実施。 [1回] ・「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会があり、人権を尊重する意識を育てようとしている。」肯定的回答を90%以上とする。 [94%] [新規]	
	(3)読書活動を推進する			
	ア 読書活動の推進する	ア・図書委員会を中心に読書活動の推進を図り、読書習慣の啓発活動や図書行事を行う取組みを実施し、読書習慣の推進を図る。	ア・図書館だよりの定期的発行を維持する。 [5回] ・教科とも協力し、校内コンクールや校外行事への参加を2回以上実施。 [新規]	
	イ 図書館の環境整備と啓発活動を推進する	イ・図書館の整備事業をすすめ、より生徒が集まり工夫された図書館運営を推進する。	イ・年間貸出し冊数が1,000冊以上をめざす。 [1,743冊]	

府立阿倍野学校

3 自主性・自立性の育成と魅力ある学校づくり	（１）希望進路の実現 ア 主体的な進路指導するカウンセリング	ア・入学時の家庭学習時間を継続することを目標に、学力生活実態調査等を用いて現状を把握し、学力向上に努める。 ・進学講習、学習キャンペーン等を実施し、家庭学習時間の増加につなげる。	ア・平日の家庭学習時間 60 分以上の生徒総数が学年の 50%以上を維持する。 [56.3%] ・夏期補習や学習キャンペーンを継続し、昨年以上実施。 [夏期補習 3 年 10 日 114H、2 年 9 日 35H、1 年 5 日 26H、学習キャンペーン 5 回] ・中堅・難関大学合格者数 170 名。 [158 名]	
	イ 進路ガイダンスを充実する	イ・対面形式での学習ガイダンス、進路ガイダンスを充実させる。 ・情報発信を積極的に行い、進路実現に向けて生徒の意識の向上と保護者の理解や協力を得る。	イ・対面形式での進路ガイダンスを各学年とも昨年度維持する。 [1 年 7 回、2 年 7 回、3 年 10 回] ・保護者・生徒へメール発信 90 件以上 [86 件]	
	ウ 進路指導を強化する	ウ・教育産業と連携した「阿倍高塾」の授業内容充実のため「学習支援クラウドサービス」の指導充実を図る。	ウ・阿倍高塾の生徒満足度 90%維持。 [95 %] ・アンケート（保護者）「進路指導・情報提供に関する肯定値」80%を維持する。 [84%]	
	（２）教職員の資質の向上と学校組織づくり ア 教職員の意欲向上と指導力向上	校内研修や授業見学等を行い、個々の教員の指導力向上とより質の高い教育が提供できる学校づくりを行う。 ア・運営委員会中心に学年、分掌、教科が連携し、校内研修などで互いに研鑽し、教員の指導力向上をめざす。	ア・アンケート(教員)「各分掌・学年間の連携が円滑に行われ、各種会議で教員間の意思疎通や意見交換を行い組織的に機能している」を 80%維持する。 [83%]	
	イ 組織力を強化	イ・学校組織を見直し、教職員の公平性、適正が適所に発揮され全体協力した学校運営をめざす。 ・意識を高め組織力を強化する。	イ・アンケート(教員)「授業方法について検討する機会や経験年数の少ない教職員をサポートする積極的な体制がある」が昨年度以上に向上させる。 [67%]	
	ウ 働き方改革の推進	ウ・業務の効率化、在校時間等時間管理、ICT 活用の推進など学校運営の見直しを図る。	ウ・安全衛生委員会を月 1 回継続する。 [月 1 回] ・年間の時間外在校等時間が 720 時間を超える教育職員をゼロにする。[2 人] [新規]	
	（３）魅力ある学校づくりに努める ア 保護者や地域と連携を推進する	保護者・地域へ情報発信し、保護者等のニーズを反映した開かれた学校づくりを推進する。 ア・保護者との意思疎通による連携を図る。 ・連携活動の理解、協力を積極的に取り組む。	ア・各学年保護者会を年 3 回実施する。 [3 回] ・アンケート（保護者）「子どもを入学させて良かった。」肯定的回答維持。 [95%]	
	イ ・Web ページやメールの情報発信の充実	イ・HP、学習支援クラウドサービスを活用し、情報発信により開かれた学校づくりをする。	イ・アンケート（保護者）「HP 等で情報提供されている。」肯定値を維持する。 [100%] ・HP 更新回数を増加し年 150 回更新。 [150 回]	
	・広報活動の充実	・広報委員会を中心に「落ち着いた環境で学べる」強みを発信し、志願者数増につなげる。 ・積極的に地区学校説明会にも参加し、学校理解と広報活動を行う。	・前年度志願者数を維持する。 [1.2 倍] ・広報活動を積極的に行い、学校情報を情宣する。 [学校説明会 3 回、オープンスクール 1 回、校外説明会 8 回]	
	ウ 地域連携活動の充実	ウ 教科・授業、生徒自治会、部活動、有志生徒中心に地域行事やボランティア活動に積極的に取り組むことで地域交流を活発にする。	ウ・地域の方との交流回数 30 回以上を継続する。 [43 回]	